

水産高校の水産加工品輸出を支援

宇和島水産高校のEU水産加工施設認定及び海外販路開拓に関する質問に答える意見交換会を開催。同校の水産加工品の輸出を支援するとともに同校の取り組みを広く関係者間で共有。

○ 施策分類

輸出促進

○ きっかけ・背景、課題の把握

JETROの輸出セミナーにて、愛媛県立宇和島水産高等学校の教諭・生徒と知り合い、同校が水産加工品の輸出に取り組んでおり、EU向け輸出にも挑戦しているとの話を伺った。

同校より、EUの水産加工施設認定に向けた助言及び米国・EU等での水産加工品の販路開拓等について、当省職員との意見交換の要望があった。

○ 取組の内容

農政局輸出促進課及び本省輸出・国際局担当者の協力を得て、同校で教諭と生徒を交えたWeb意見交換会を開催。

愛媛の水産物を世界に売り込むため、同校の生徒が市場調査、商品開発及び販路開拓を実践した経験と成果を、輸出に取り組む水産・食品事業者、行政等の関係者及び当省職員に発表し、意見交換を行う研究発表会を開催。

○ 効果・成果、今後の方向性

高校として初のEU施設認定を12月18日付けで取得。今後の輸出拡大に期待。生徒からの質問に対する当省職員からの資料提供及び質疑応答を通じて、生徒の食品輸出に関する理解が深まり、輸出を担う人材育成につながった。

また、研究発表会では、120名超の参加者からは高校生による取組への称賛、今後の取組への期待や業務の参考になったとの発言があったほか、会場参加者間でも交流が行われるなど関係者における輸出促進の一助となったと史料。

なお、農政局HPでの取組紹介や発表会後、新聞・テレビ等のメディアで報道されたことにより、同校の取組を広く紹介するきっかけとなった。



研究発表会の様子



生徒を交えたWeb意見交換



輸出を行っている缶詰商品

体制図

